

3月18-19日は福井の経ヶ岳と銀杏峰へ足を伸ばした。



ファンタジートップからシールで



雲がわいてきだした



時折青空が見えて展望は素晴らしい

天候は西から低気圧がきているので速攻体制で挑む予定だったが、初っぱなからアクシデントが続く・・・。
大本くんが朝寝坊、横さんのシール紛失さわぎ etc.

18日

姫路2:30～大津4:00～福井北IC～南六呂師白山神社前に車をデポ7:00～ジャム勝山スタート8:00と、ほぼ計画通りに進む。まだこの頃は快晴である。

ファンタジートップへのリフト乗り継ぎで横さんがシールを落としたために約40分の時間ロス。このころから早くも経ヶ岳方面に雲がかかりだしてきた。待機している時間はすごく長く感じるものだ。

9:20 ファンタジートップからシールを張りようやく行動開始。目指すは正面に見える北岳と経ヶ岳である。雪質は重雪湿雪でくるぶしが隠れるくらい。遅れを取り戻そうと一列縦隊で早いペースで順調に進んでいく。後ろを振り返ると取立山から鉢伏山の稜線に大長山、その後ろに真っ白の白山。そして小原峠、赤兎山と素晴らしい眺めである。



稜線へ出る



北岳と経ヶ岳



すごい雪庇も張り出している



小雪に変わってきたので名松まで



滑降開始



小屋上の急斜面

19日

7:00 目覚めると一端止んでいた雨が再び降りだしてきてゆっくりと朝食をとっていると、雨が雪に変わりだしてきた。天気予報も雨/曇りの情報がでたので、小屋主人と銀杏峰を愛する会の人達が開拓した「名松林道」をピストンしようとなり、急いで支度にかかる。適度な斜面で滑るには面白いと思っていたが、晴れ間が見えていた空が気圧の谷が通り始めたのか、一変してガスが出始めて雪もクラスト気味になってきたので引き返すことにする。固めのパウダーをパワーで回しながら疎林の間をぬって滑り降りて、アッと言う間に小屋にたどりついた。

1時間ほどの運動量だったが、まずまずの消化ができて小屋をあとにした。温泉に浸かっていると、またもや本降りになりだしついには雪に変わり始めてきた。

PS.

天候に今ひとつ恵まれなかったが、いい偵察が出来た、次回は白山神社から経ヶ岳を目指したい。

しかし播州の氷ノ山ブン回しに比べるとスリリングな感じはなく疲れも感じない。

銀杏峰は志目木谷をまだ経験していないので次回は是非とも試みたいものだ。



名松



杉林にあえぐ



ややこしいトラバース